TDB

株式会社帝国データバンク
情報統括部
東京都新宿区四谷本塩町 14-3
TEL:03-5919-9343（直通）
URL:https://www.tdb.co.jp

全国企業倒産集計 2023 年 1 月報 別紙号外リポート

倒産増加、リーマン後で最長更新 発生件数は低水準続く

～ ゼロゼロ融資で抑制された「反動増」が要因 ～

2023 年 1 月の倒産件数は前年同月比 13.3%増の 546 件で、9 カ月連続して前年同月を上回った。9 カ月連続の増加は 08 年のリーマン・ショック後で最長を記録し、2000 年以降でも過去 4 番目となる長さとなった。発生件数はコロナ禍前を大幅に下回る水準ではあるものの、22 年 5 月を転換点として増加傾向が続くなど、潮目の変化が明らかとなっている。

2000 年以降で最も増加期間が長かったのは。01 年 1 月～03 年 2 月の 26 カ月間。当時、日本政府が初めて「デフレ」であると認め、日本経済が深刻な不況へと突入した時期だった。「リーマン・ショック」による世界同時不況が原因となった 08 年 6 月～09 年 8 月（15 カ月間）、脱談合などで建設業の倒産が相次いだ 06 年 10 月～07 年 11 月（14 カ月間）も、中小零細企業の売り上げが低迷したまま、価格競争に巻き込まれて淘汰を余儀なくされたケースが主だった。

他方、2023 年 1 月までの倒産増加は、金融円滑化法やゼロゼロ融資などで、過去 10 年以上抑制されてきた企業倒産リスクが表面化してきたことに起因する。事業の抜本的再生が進まない企業にとって、ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響が表面化した物価高（インフレ）や、これまで「コスト」として削減してきた人件費などの賃上げに対応できる企業体力は乏しく、ここにきて力尽きるケースが増えている。自らの儲けで借入金の利子が返済できない「ゾンビ企業」の割合も増加するなど潜在的な倒産増加圧力も強まっており、企業倒産は今後も増加する可能性がある。

2000 年以降における月別の連続増加期間（法的整理のみ）

期間			連続増加期間	増加期間中の平均件数（月）	要因・背景
2001年1月	～	2003年2月	26カ月	804件	戦後初めて政府が「日本経済はデフレ」と認定 不良債権処理の加速化
2008年6月	～	2009年8月	15カ月	1133件	サブプライム住宅ローン問題が表面化、世界金融危機へ（07年～） 「リーマン・ショック」（08年9月）発生、世界同時不況
2006年10月	～	2007年11月	14カ月	901件	「脱談合」の加速、資源価格の高騰、低調な個人消費 金利の引き上げ、貸金業法改正、「責任共有制度」の開始
2022年5月	～	2023年1月	当月までに9カ月	549件	ゼロゼロ融資などで大幅に抑制された2020～21年からの反動増 私的整理議論加速、「ゾンビ企業」問題に焦点

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西（かみにし） 伴浩（ともひろ）
【問い合わせ先】 飯島（いいじま） 大介（だいすけ）、辻尾（つじお） 智宏（ともひろ）、大友（おおとも） 隆靖（たかやす）
03-5919-9343（直通） 情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.